

業 務 速 報

NO. 1434
2025. 11. 14
J R 東海労働組合
発行 淵上 利和
編集 斉藤 孝紀

2025年度年末手当に関する第3回団体交渉(会社回答)

社員の苦労に何ら応えていない！ 余りにも低額回答にその場で再申し入れ

本部は11月12日、『申第8号』に基づく、2025年度年末手当に関する第3回団体交渉を開催しました。会社から以下の回答と、「社員の皆さんへ（2025年度年末手当について）」の見解が示されました。

本部は、余りにも低額回答で、社員の苦労に何ら応えていないとして、その場で再申し入れを行いました。

再申し入れについての団体交渉（第4回団交）は、11月17日に開催します。

会社回答

- 1 支給月数は、3. 1箇月とする。
- 2 支給日は、12月10日以降準備でき次第とする。
- 3 支給額は35歳ポイントで1,050,280円
- 4 基礎額は35歳ポイントで338,800円
(基礎額＝基本給、役付手当、技術手当)

338,800円

0

0

〈若干のやりとり〉

こんな低額回答では持ち帰り検討にも値しない！

組合：3.1ヶ月では納得いかない。中間決算で最高益を出したのであるから、納得出来ない。会社の言う安定的支給ベースに0.2ヶ月だけ加えただけである。会社は0.2ヶ月を加えた、その上年間6.15ヶ月出したからいいだろうと主張しているが、JR東海労の要求からすれば、0.4ヶ月少ない。まだ、一時金を支給しないことでは、組合の要求は全く通っていないという認識である。

組合：35才ポイントの支給額はいくらか。

会社：支給額は1,050,800円である。

組合：35才ポイントの基礎額の内訳についてはどうか。

会社：基礎額は35才ポイントで338,800円である。

組合：基準内賃金は基本給のみで338,800円でいいか。

会社：そうである。内訳は基本給のみで338,800円、役付手当0円、技術手当0円となる。

組合：夏は3.05ヶ月、冬3.1ヶ月、しかし、中間決算は最高益では、昨年の状況よりは遙かにいいことである。社員は中間決算で最高益を出したことは知っている。相当期待していたが、蓋開けると「何だ、3.1ヶ月かよ」となり、モチベーションは下がっていく。会社はどのように認識しているのか。

会社：最高益を出したことは事実であるが、第2回の団交の中で、当社の経営状況、経営環境、景気の動向、当社の賃金水準、組合からの主張等を組み入れ、総合的に判断し、決定していくものと考えているが、業績が一番の要素と考えている。最高益になったことを踏まえて、安定的支給ベース2.9ヶ月に0.2ヶ月プラスして支給するものである。会社としても社員の努力があったからこそ最高益を出したと認識している。年間で6.15ヶ月と過去最高の支給月数になっている。3.1ヶ月は社員に十分に報いる月数と考えている。

組合：昨年の年末手当は3.0ヶ月だった。その時の35歳ポイントの支給額はいくらだったのか。

会社：103万500円だった。

組合：2万円しか上がっていない。

会社：基礎額が違っている。

組合：実質賃下げでだ。

会社：こども手当を新設し、基準内賃金から基準外賃金とした。年収ベースでは下らない。ボーナスだけを見ると基準内賃金の内訳を変更したのでそのようになる。

組合：昨年と比べても、2万円しか上がっていない。

会社：会社はベースアップも行い2万円も多くなったとの認識である。

組合：社員は中間決算で最高益を出し、ボーナスは一時金であり、生活給の一部であるからもっと出すべきだ。会社は3. 1ヶ月が精一杯との認識か。

会社：社員の頑張りがあったことは認識している。今回の3. 1ヶ月は精一杯である。

組合：決して精一杯とは思えない。3. 1ヶ月は過去に出していた。

会社：確かに3. 1ヶ月は過去に出してきたのは事実であるが、ベースアップを重ねてきて、あの当時とは違う。

組合：ベースアップしているが、今の状況は物価が相当高騰し、家計を直撃している。

会社：ボーナス時考えなければならないが、ベースアップで反映させなければならない部分である。

組合：我が社のベースアップについては、JR東、JR西より低い。JR四国と同一である。

会社：社員への報いるために考えていかなければならない。

組合：夏のボーナス時3. 05ヶ月の35歳ポイントの基礎額はいくらか。

会社：355, 700円である。支給額は1084, 900円である。

組合：結局、減額となってしまう。

会社：基礎額は下がっているが、だからボーナスが下がると言っても、年収が減額になってはいない。月例給をしっかりと支給しており、年収ベースで支給して減収にならないようにしている。

組合：万博手当も含めて、会社として一時金の支給は考えなかったのか。

会社：ボーナスの性質上、広く支給する意味で一律で支給することを考えた。

組合：JR東海労の要求から0. 4ヶ月少ないし、一時金もないことから、この低額な回答では持ち帰り検討に値しないので、再申し入れを叩き付けるつもりで提出する。

会社：了解。

以 上

会社回答書

年末手当について

2025年 1 1 月 1 2 日
東海旅客鉄道株式会社

2025年度年末手当について、次のとおり回答する。

- 1 支給月数は3.1箇月分とする。
- 2 支給日は、12月10日以降準備でき次第とする。

(参考) 35歳ポイント諸元

年末手当支給額：1,050,280円

* 次ページ会社資料

社員の皆さんへ（2025年度年末手当について）

■ 今回の年末手当は、大阪・関西万博のご利用増等により2025年度第2四半期決算が増収・増益となったことに加え、日々安全・安定輸送の確保や各種施策の推進に尽力している社員の皆さんの努力に報いるため、年末手当の安定的支給ベースである2.9箇月分に0.2箇月分を上積みし「3.1箇月分」を支給します。

■ 2025年度の夏季手当（3.05カ月）と合わせると、年間支給月数が「合計6.15箇月」となります。これは、会社発足以降、年間を通じて過去最高の支給月数となります。

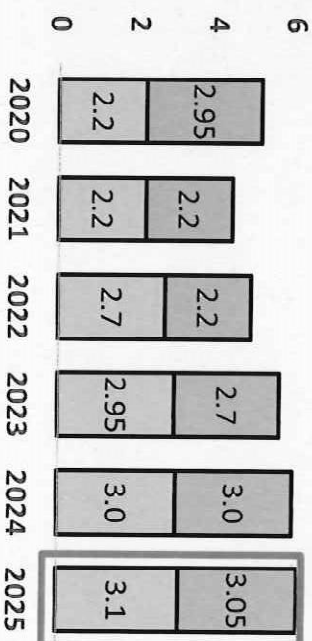
■ また、近年は3年連続で従来にない水準のベースアップを実施してきており、年間を通じた支給額（35歳モデル）も「合計2,135,180円（年間）」となり過去最高となります。

■ 引き続き、社員一人ひとりが能力を高め、求められる役割に応じて力強く業務に取り組み、会社全体として更なる成果を出していくことを強く期待しています。

年間を通じて過去最高の月数「合計6.15箇月」を支給

2024年度（前回）	
年間支給月数	支給額
6.0	2,061,000

2025年度（今回）	
年間支給月数	支給額
6.15	2,135,180



※支給額は35歳モデル賃金を使用。

□ 年末手当 □ 夏季手当